

平成26年
12 月 舟橋村議会定例会会議録（第2号）

平成26年12月12日（金曜日）

議 事 日 程

平成26年12月12日 午前9時00分 開議

- 日程第1 一般質問
日程第2 議案第42号から議案第45号まで
日程第3 選挙第2号 富山県後期高齢者医療連合議員選挙の件
日程第4 選挙第3号 常願寺川右岸水防市町村組合議会議員選挙の件
-

本日の会議に付した事件
議事日程のとおり

出席議員（8名）

1番	森	弘秋君
2番	塩原	勝君
3番	野村	信夫君
4番	明和	善一郎君
5番	山崎	知信君
6番	川崎	和夫君
7番	竹島	貴行君
8番	前原	英石君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者の職・氏名

村	長	金森勝雄君	
副	村	長	古越邦男君
生活環境課	長		

教 育 長 高 野 壽 信 君
総 務 課 長 松 本 良 樹 君
生活環境課主幹 吉 田 昭 博 君
代表監査委員 吉 川 良 二 君

職務のため出席した事務局職員

林 輝

午前 9時00分 開議

議長（前原英石君） ただいまの出席議員数は8人です。定足数に達しておりますので、平成26年12月舟橋村議会定例会を再開します。

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

一 般 質 問

議長（前原英石君） 日程第1 一般質問を行います。

通告順に発言を許します。

4番 明和善一郎君。

4番（明和善一郎君） おはようございます。

初めに、早いもので、富山県東部消防組合上市消防署舟橋分遣所が10月1日より運用開始されてから2カ月が経過しました。この間に出動された件数についてお尋ねしたところ、10月には12件で、内訳は村内6件、上市町6件、11月には21件で、内訳は村内7件、上市町14件となっており、村内の急患患者13件の搬送に携わったと聞いてきました。また、運用前に心配していました分遣所前の交通渋滞や踏切での交通混雑等、問題となる事案もなく救助活動されていることもお聞きし、一安心したところでございます。

安心・安全なむらづくりを目指す舟橋村にとって、分遣所の存在は非常に大きなものであり、村長をはじめ関係市長、町長、消防署職員の方々に心より感謝申し上げたいと思います。

それでは、通告しています2点についてお考えをお聞きします。

まず1点目ですが、資源ごみの収集ステーションの整備及び資源ごみの販売実績、収集対策PRの徹底についてお考えをお聞きします。

最近、各地にあるスーパーのリサイクル箱に大量の資源ごみの持ち込みを目にするものが多くなってきているのではないのでしょうか。

村内の資源ごみの販売実績を見てわかるように、平成22年実績の115万8,000円に比べ、平成25年実績では73万3,000円まで落ち込んでいます。この減少原因について精査されていますか。

また、お手元の資料をごらんください。JA女性部を中心に取り組まれているプルタブ回収では、学校や福祉施設等の協力を得て、JA支店や生活福祉センターで取りまとめプルタブを換金し、平成25年度実績として車椅子4台を購入することができ、舟橋村内にあります舟橋出張所へ1台（プルタブ700キロ相当分で購入されたもの）が備えられ、無料で貸し出しされています。

舟橋村社会福祉協議会や学校が中心となり取り組まれているエコキャップ収集運動では、年々収集個数が増えており、回収業者を經由してエコキャップがワクチンに変わり、多くの人々の病気予防に役立っていることをお聞きすると、資源ごみの収集取り組みに対する考えをいま一度見直す時期ではないかと思われそうですが、どのようにお考えですか。

資源ごみの収集日数、収集スタイル、ペットボトルのシールはスーパーでは外していないものがあります。また、収集日以外の日に出すための収集ステーションの整備等、早い時期に取り組みを考えていくべきと思われそうですが、当局のお考えはいかがでしょうか。

次に2点目として、新年度予算策定に人口減少問題に対する予算化等の考えはどのようになっていますか、お聞きします。

県内はもとより、全国的な問題として人口減少問題がクローズアップされ、現在実施されています衆議院選挙でも各候補者や政党の公約の中に多数書かれています。

舟橋村でも今後、人口問題は避けて通れない問題であると思われそうですが、若い世代への子育て支援や人口流失による20代人口の減少対策、逆ピラミッド型人口構成の打破対策など、今のうちから取り組まないと手遅れになってしまう問題をピックアップし、対策プロジェクトチームの設置やそれに係る予算の処置等、国、県への要望の取りまとめを早急に進めるべきと思いますが、村長のお考えをお伺いいたします。

以上2点についてお伺いいたします。

議長（前原英石君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 4番明和議員さんの資源ごみ回収のご質問について私からお答えさせていただきます。

議員ご指摘されましたとおり、本村の資源ごみ売り払い金は、平成22年の115万円をピークに減少傾向にございまして、25年度実績は73万3,000円、議員申されたとおりでございます。

また、回収業務を実施されていますスーパー等に資源ごみが持ち込まれるケースが増

えていることも事実でございます、その資源ごみはスーパー等が所在する市町村が回収いたしまして、売り払い金は回収した市町村にカウントされております。

しかし、資源ごみ等の減少は本村ばかりではございませんで、富山地区広域圏構成自治体5市町村全体の傾向となっております。

この原因を調べてみますと、1つは、缶ジュースなどの製造元がスチール缶からアルミ缶に切りかえたことに伴う数量の減少に伴うものでございます。もう1つは、町内会が独自に回収を実施していることに伴う減少でありまして、この取り組みが資源ごみ減少の大きな要因となっております。町内会で回収されました資源ごみの売り払い金は、当然、その町内会に入っております。

また、現在、本村の資源ごみ回収は、瓶・缶は月2回、ペットボトルは月2回、プラスチックは週1回、古紙類は2カ月に1回実施しており、資源ごみステーションは15カ所設置してございます。

資源ごみ回収率の向上のために、現状の収集回数を、瓶・缶を毎週、ペットボトルを月2回、古紙類を毎月を増やした場合の経費試算を行いましたところ、月額で10万7,300円の増、年間で約128万円の増とすることが見込まれておりまして、費用対効果を考えた場合には実施はなかなか難しいものというふうに考えております。

また、確かに資源ごみの回収箇所は多いほうが回収率向上につながりますが、経費がかかることも事実でございます、回収場所の提供につきましては、自治会による自主的な取り組みもぜひご検討いただければというふうに考えております。

リサイクル運動を高めるには、個々人、団体の活動を問わず、住民の皆様と行政とが連携をし進めていくことが重要でございます。

今ほど議員からJAアルプスのプルタブ回収、社会福祉協議会のエコキャップ回収の取り組みをご紹介いただきました。それぞれ小中学校の児童生徒の皆さんも回収に積極的に協力していただいているということを社協の会長さんからもお聞きしております。育成会の古紙回収事業は、村報を通じまして皆様にPRをし、ご協力をいただいております。また、役場内に使用済み小型家電製品の無料回収ボックスを設置したことも、ことし6月の村報で皆様方にお知らせをし、貴金属を回収するとともに、燃やせないごみの減量化を図っております。

これからも、リサイクルはもちろんのこと、リデュース・リユースの3R活動を推進いたしまして、資源の有効活用とよりよき生活環境づくりに努めてまいりたいと考えて

おりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げまして、答弁とさせていただきます。
議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 4 番明和議員さんの人口減少問題への取り組みについてのご質問
にお答えいたします。

政府では、人口減少、超高齢化という我が国が直面している大きな課題に対応し、政府機関が一体となって取り組み、そしてまた、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な地方が創生できるよう、平成26年9月3日には、まち・ひと・しごと創生本部を設置いたしました。

創生本部では、人口減少の克服、地方を創生する司令塔といたしまして、必要な政策を随時実行していくこと。また、国と地方が総力を挙げて取り組む指針となります長期ビジョンと総合戦略を年内にも決めまして、地方の取り組みを積極的に支援していくこととしております。

また、基本姿勢といたしましては、中長期的な政策目標の設定、各省庁間の縦割りの排除、地方自治体の主体的取り組みを基本に、民間の創意工夫の支援をすることを掲げております。

本村ではこれに先駆けまして、昨年度に人口問題プロジェクトを立ち上げまして、これまでの取り組みを検証し、今後の人口推移予測をコーホート要因方法で推計いたしまして、クライスラー分析により、北陸3県における本村の位置づけを明確化するとともに、これらをベースに、本村のまちづくりの方向性と今後集中的に取り組む施策を示した舟橋村環境総合整備計画を今年の3月に策定しております。

計画では、「子育てするなら舟橋村 住み続けるなら舟橋村」をキャッチフレーズとし、安定的な子育て世代の人口流入と、今後増えていくことが予測されておりますエイジレス世代への取り組みを施策の柱に掲げまして、今年度から実施しているところであります。

子育て世代への取り組みといたしましては、子育て世代を対象にした産学官金連携による宅地モデル造成や子育て環境整備計画案の策定、子育て世代の交流促進を目的とした子育てカフェの開催、また、エイジレス世代がそれぞれの地域で居場所や役割を見つけることを目的としたエイジレスカフェを実施してまいることとしております。

議員ご指摘の人口減少対策についてであります。ご存じのとおり、全国で多くの自治体は、子育て世代の流入を目指して、独自の子育て支援サービスを進めることで他の市

町村との差異化を進めております。

しかし、子育て世代層の人口には限りがありまして、世代人口が急増するわけではありません。市町村間の子育て世代の奪い合いで人口減少の歯どめ施策になるとは思っておりません。

子育て期の大切な期間は10年余りであり、歳月の経過とともに住民の求めるニーズも多様化してまいります。

私は、人口減少施策に重要なことは、住民の皆さんにとって暮らしやすい住環境をつくることであり、その基盤になるのが住民主役のまちづくりであると考えております。

ともに支え合える環境が整っていることで、誰もが安心して子どもを産み育てることができること、また、高齢期を迎えても地域に居場所や役割があることで、住みたい、住んでいてよかったとの思いが芽生えるのではないかと考えておる次第であります。

現在本村が進めております舟橋村環境総合整備計画は、地域力を柱とするまちづくり計画であり、その実現こそが本村にとっての人口減少対策であると考えております。

新年度予算にはその施策に係る事業費を予算計上してまいる所存でありますので、議員各位にご理解をお願い申し上げまして、私の答弁とさせていただきます。

議長（前原英石君） 2番 塩原 勝君。

2番（塩原 勝君） おはようございます。

それでは、一般質問をさせていただきます。

ちっちゃなちっちゃな舟橋村、この舟橋村の面積は3.47平方キロメートルです。これがもし完全な円であれば、半径は約1キロ、正確には1キロと51メートルの円に等しくなります。そして、これがもし正方形であれば、一辺は2キロ 2キロもありません。正確には1,863メートルの正方形の面積と一緒にあります。

実際のところ、舟橋村の地図の上に役場を中心に1キロメートルの円を描けば、ほとんどの住宅がこの中におさまるわけでありまして。だからこそ、舟橋村は日本一面積の小さな村ということになるわけです。

ほかの自治体と比較したら、突出して小さな自治体ということになるわけですが、そこで、舟橋村、それは小さいがゆえにインフラストラクチャーの整備も特に進んでおります。

庁舎や舟橋小学校、舟橋中学校をはじめ、ほかの公共施設も村の中心部に一つずつあって、住民はそれらを大変身近に感じ、便利なのでよく利用し、いろんな行事への参加

率も大変高くなっております。

道路についても、県道、村道、農道も拡幅延長され、そして新設もあって万全に近く、その充実と整備状況も日本一と言ってもいいくらいであります。

話は変わりますが、舟橋村村勢要覧2012に村長は巻頭言で、舟橋村は豊かな自然環境と述べておられます。また、その要覧の中では、人も村も自然がいいね、雄大な立山連峰を望む四季折々の景観、のどかな田園風景とあります。

また、舟橋村民憲章では、「風わたる稲穂の大地、水清く、立山をはるかに望む」から始まり、「自然と遊べる豊かなみどりを育てましょう」と続きます。

小生は25年の6月議会で、美しい村づくりについて質問しました。その中で、すばらしい環境とは、公共施設や芸術・文化、スポーツ施設などがバランスよく整い、自然環境も整備されて美しく、ごみや廃棄物の放置もなく、雑草、雑木などが生い茂った荒れ地などが少ないことと述べました。

村のふるさと環境整備計画、村民憲章、第4次舟橋村総合計画、ふなはしむら健康構想、舟橋村環境総合整備計画、そして国の地方創生の全てに、人と心と環境にかかわることが述べられています。すなわち、環境整備は人と自然の融和が基本になっております。

だから、村として、施設はある、住宅地は安くて便利だということだけで満足してはだめです。施設では内容の充実とゆとりと美観をもう一度考え見直し、住宅地もやはり利便性や広さ、景観なども考えて、魅力的な住宅地はどうあるべきか考えていくべきであります。

エリアマネジメントについては、地域における良好な環境、地域の価値の維持向上、主体的な取り組みとありますが、村では舟橋村環境総合整備計画の中で、快適で魅力的な環境の創出、美しい街並みの形成、安全・安心な地域づくりにより、総体的な地域環境の質の向上を目玉としています。

そこで、総体的な地域環境の質の向上とはどのようなことなのか、その構想と整備計画は具体化されているのか、かけ声だけで終わっているのではないかということもお聞きしたいわけですが、今回の質問では少し小さく絞りました。

公共施設の庭の樹木、保育所や舟橋小中学校のグラウンドの周りの樹木、村道の街路樹、これらは歳月の流れの中で、台風や雪に負けた木や病虫害で枯れた樹木もあります。

中でもオレンジロードでは、桜並木やその他の街路樹が一部枯れています。ほかでは、

J A アルプス舟橋出張所から寺田駅までの村道の街路樹も同じです。舟橋中学校グラウンド周辺の樹木の欠損が目立ちます。このように、かなりの数の樹木が欠損したままです。これでは美観からもよいとは思えません。

今後、補植などを含めて、見直しと再整備などのお考えがあるかどうかをお伺いいたします。よろしく申し上げます。

議長（前原英石君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 2 番塩原議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。

今ほど議員から、ふるさとを愛する強いお気持ちを聞かせていただきました。

議員ご指摘のとおり、役場前広場ですとか小中学校の前庭等、公共施設には多くの樹木を植栽しております。今の季節、北陸地方では、雪の重みから樹木を守る雪つり、雪囲いが雪国独特の風情を醸し出しております。また、ここ 20 年余りで村が新設あるいは改良しました道路によりまして、具体例を申し上げれば、海老江東芦原線の中学校沿いのケヤキやイヌエンジュ、舟橋西部線のイチヨウ並木、舟橋駅寺田線のイロハモミジ等々、春夏秋冬それぞれの季節感を演出してくれまして私どもの目を楽しませてくれているのも事実だろうと思っております。

こうした街路樹には、単に景観をよくするだけではなく、夏には、アスファルトや石張り、タイル張りの道路からヒートアイランドを防ぐ地球温暖化防止機能、雨や日射しを遮り熱射から歩行者を守る歩行補助機能、車の騒音や建築物への反射音吸収機能、排気ガス中の粉じんを吸着し二酸化炭素を酸素に交換する機能、火災の際の放射熱を吸収し延焼を食い止める機能など多くの役割を果たしており、従来より村では、公共施設や道路整備時に植栽を行ってまいりました。

しかし、議員ご指摘いただきましたとおり、現在村が管理しております公共施設、村道等で樹木の欠損箇所が何カ所か存在しております。先生おっしゃるとおりでございます。

これには幾つかの要因がございます。1 つは、病虫害や植樹ますの土壌等に何らかの原因があって枯れるパターンで、これが一番多いケースでございます。2 つ目は、樹木の成長とともに根上がりによる舗装の損傷という維持管理上の問題により植栽を行っていないケースです。もう 1 つは、落ち葉等の処理に関して近隣の方々からご要望があって再植を行っていないケース等々がございます。

病虫害や土壌に起因する対策といたしましては、防除の徹底、土壌の入れかえ等の対

策を講じれば、これまでと同等の役割、機能を回復してくれますので、できる限り早い時期に補植をしたいと考えております。

根上がり原因となりますケースにつきましては、再発を防ぐため、違う種類の植樹を含め、樹木の特徴を十分に検討した上で取り組みをしてみたいと思っております。

また、落ち葉等の処理に関するケースにつきましては、それぞれいろいろご意見もいただいているわけですが、今ほど申し上げましたとおり、さまざまな機能を有する街路樹の特性を、地元自治会ははじめ関係者の方々にご理解いただけますよう、十分協議を重ねていきたいというふうに思っております。

これからも緑豊かな地域環境を維持し、住民の皆様に住みよい村と感じていただけますよう、村が管理しております樹木の手入れを再点検をしてみたいと思っております。何とぞご理解を賜りますようお願いをいたしまして、答弁とさせていただきます。

議長（前原英石君） 1 番 森 弘秋君。

1 番（森 弘秋君） 1 2 月 1 4 日は赤穂浪士の吉良邸討ち入りの日。遠い昔の快挙にあやかるように、「おのおの方、選挙でござる」と陣太鼓が鳴るのだろうか。

急な解散風に、大義名分がないと某新聞に書いてあった。まさに今は総選挙の真ただ中。しかし、国会は国会。我が村をどうするかであります。

早いもので 1 2 月です。駅前のイルミネーションがきれいになりました。

舟橋駅前の時計が、あまり当てにならなかった時計とでも申しましょうか、ようやく新しいものになるようです。駅の顔が 1 つよくなります。

私は 9 月議会で、舟橋村の安心・安全のための危険箇所等の再点検等について問いました。答弁では、ハザードマップはリアルタイムで見直しをかけている。今後も、地域住民の安心・安全の確保のため、関係機関と連携を密にしながら、危険箇所等の点検、改善に努めてみたいとのことでした。しかし、具体的に聞き取りもなし。調査に至っていないのではないかと考えております。住民の安心・安全は広いのです。

国、県では、平成 2 7 年度の予算要求の時期です。舟橋村も、今ほど話にありましたように、1 2 月から 1 月にかけて 2 7 年度の予算要求。重点事業の箇所づけ、編成の大事なときであります。ハザードマップにあぐらをかいていないで、視点を広げて考えてもらいたいと思います。

さて、第 1 の質問は、既にある施設・設備の発展的整備と対策についてであります。安心・安全の確保に関する課題です。

初めに、舟橋駅構内に水施設があります。施設が劣化したのか、今は起動していません。数年前になりますか、水が流れ出るのを見た記憶がありますが、現在はカモシカ君の絵が置いてあります。飾ってあるのかどうか分からない状態です。

普通に考えると、カモシカ君には悪いが、なぜ貴重なこの水施設正面に飾られているのか。仮に置かれているのだと思いますが、不思議でなりません。

カモシカ君の宣伝を前面に出すのであれば、水施設を解体し、額装などして見ばえをよくすればと考えますが、いかがでしょう。

舟橋駅にたびたび行きますが、不自然でなりません。人間というものは、ならされると何とも感じなくなるものですが、「おや、なぜ」と見直してみる必要があります。

私だけでなく、「なぜここにカモシカ君なの？」と疑問を持つ人がいると思われれます。「おや、なぜ」、哲学の精神です。

駅は舟橋村の顔ではないでしょうか。カモシカ君には別の場所を考えるかきちんと装飾をつけるなどして、水施設を含め整備しましょう。

また、舟橋駅の地下通路には、北側、南側に当然にして階段があります。当時は北側、南側の連絡通路は画期的でよかったかもしれませんが、この高齢化の時代、高齢者は階段の使用について難儀をしております。

そこで、駅構内の階段の2分の1にエスカレーターの設置、南側、駅南駐車場の階段にはエレベーターの設置について考えられないだろうか。

つい先日、久しぶりに舟橋駅でございました。2番線に到着。駅舎の反対側のホームです。おりたのは、手押し車を引いておられる高齢のご婦人の方と私と2人。80歳前後のお年寄りだと思います。ご婦人はホームの階段で手押し車を持ち、おりるのに難儀をしておられた。恐らく1番線に上るのも大変だろうと思い手助けをしたのですが、何とこののですか、手押し車を引いてホームの階段をおりられる。上られる。何と不便なことか。思わず「おばあさん、手押し車を持ちますよ」と、反対側の1番ホームまで持ってあげました。ご婦人は何回も「ありがとう、ありがとう」と言い、次に出た言葉が「若い者が皆勤めに行っていないものですから」。恐らく心の中では、かわりに私が買い物に行ったんですよという話をしたかったのかなというふうに思いますが、地下道を通るのがそんなにしんどいならば踏切を渡ればよいではないかと思われるかもしれませんが、私はそうは思えません。やはり地下道がそこにありますから地下道を渡ります。

以前に図書館を利用する人の駐車場が足りないと問うたとき、そのときには駅南駐車

場を利用してくださいとのことでありました。当然にして地下通路を通ることになります。

このように、いろんな箇所でご高齢の方は悲鳴を上げておられるのではないのでしょうか。

もっとこのような意見、要望に耳を傾けられないか。そういったきめ細かい問題に取り組んでもらいたいと考えます。

いずれにしても、ホームの階段は別として、地下道はエスカレーター、エレベーターの整備が必要であると思います。「ローマは一日にして成らず」と言いますが、前向きに検討していただきたいというふうに考えます。

エスカレーターについてもう1つ、舟橋会館にエスカレーターの設置は考えられないか。

玄関ホールから1階ホールなどに行くとき、スロープによる通路と階段があります。やはり階段を利用するのが圧倒的です。

最近、何度も大ホールを利用する機会があり、この階段の上り下りに大変難儀をしております。

また、玄関ホールから1階ホールにはスロープがありますが、2階に上るのにスロープがありません。不思議の一つであります。建築時はよかったと思いますが、今のよう多方面に使用、利用するときにはいかなものかと思えます。

次に、諸施策の検証とでも言いましょうか、ウォーキングロードの道路案内板については、11月初めに修理といたしますか取りかえがしてありました。私から見れば、ようやく直したのかの感であります。

これも問題ではありますが、ウォーキングロードは整備してから5年が経過しております。整備したから、「村民よ、後はよきに諮られよ」ではいけないと思います。行政サイドでももう少し活用方法をアドバイスできないでしょうか。

例えば1年に1回の歩こう会が行われておりますが、年2から3回行う春の歩こう会、秋の歩こう会など、さらには地域単独の歩こう会の実施、コミュニティ振興交付金の活用によりウォーキングロードを使用した地域に懸賞を与えとか。

いろいろな健康講座でも促しておりますが、とにかく歩くことは非常に健康によいとされております。健康日本一を唱える舟橋村として、まず歩くこと、そしてコースの利用のPRをしていただきたい。1日に1万歩を目標として、まず歩きましょう。

次に、各地域に整備されている公園の活用であります。公園は、ご存じのとおり、都市計画法、公園の設置基準に基づき設置されておりますが、残念ながら、各地域の公園を利用している人はほとんど見かけない。たまに子どもたち数人が遊んでいるのを見かけるのみです。

さて、2つ目の質問は、各地域にアットホーム的な集会場の整備ができないかであります。

現在は舟橋会館にサロンが1室用意されておりますが、登録された団体のみが使用できることになっております。この枠組みを外し、多くの村民が利用できるようにしてはいかがでしょうか。最近多く利用しているのは、舟橋寿会が主であるというふうに見受けられます。記録を見ますとほとんど空白、舟橋寿会だけが使用しているというふうに見受けられます。ほかに行政相談が時々利用されていると思われれます。

ところで、舟橋村の平均年齢は38歳前後と今は若い。しかし、新興団地の方々も含め、これから高齢者が増えるところから、地域内交流も盛んにする必要があると考えます。

さきの議会で川崎議員の地域包括支援対応について、一般介護予防事業や介護予防・生活支援サービス事業の対象となる高齢者の受け皿として、通いの場づくり、集いの場づくり、地域の中に居場所や生きがいを見つけられる場所をつくる 先ほども村長が答弁で言うておられましたけども と答えておられるが、まさにそのとおりであり、私の提案するアットホームは、時には会議場であったり、仕事の場であったり、遊びの場であったり、例えば、最近新聞等々でにぎわしておりますが、健康麻雀のできるゲーム場であったり、高齢者はもとより、老若男女を問わず、団らんの場の提供が必要と考えます。

こんな話を聞きました。高齢者の方では舟橋会館は使いづらい。なぜかわかりませんが、そしてまた、地域の公民館も簡単に使えないと。いつでも気軽に数人単位でよい。遊び場所があればよいと言うておられます。こういった意見も聞きます。

会館サロンはサロンで使用することにし、ほかに各地域に、主として高齢者ではありますが、老若男女を問わず、村民であれが誰もが自由に使用、利用できる地域サロンの開設を考えられないものか。

まさにエイジレス時代の到来であり、村長も地域における居場所が大切であると説いておられます。

そこで、先ほども申しましたが、これから増える高齢者、新興団地の方々も含め、遊ぶ場所、例えば空き家の再利用あるいは民間企業等の空き施設で、用途期限が切れた施設等を利用することも考えられるのではないのでしょうか。

例えば舟橋寿会で要望していゲートボールクラブ部室を改造して利用するなど、格好の場所と考えますが、いかがなものでしょうか。

これからの高齢化社会を踏まえ、発展的な、そして現実的な整備について村長の考えをお聞きます。

議長（前原英石君） 総務課長 松本良樹君。

総務課長（松本良樹君） 1番森議員さんの既存施設・設備等の今後の活用についてのご質問に私のほうからお答えをいたします。

森議員のご質問の趣旨は、村の所有する公共施設や設備について利用実態を検証し、時代の変化や将来予測に基づく施設の有効活用を検討しているのかということであると認識しております。

議員から、ウォーキングロード、京坪川河川公園、地区公園等の利用状況、さらには駅周辺施設の将来を見据えた改修などのご意見をいただきました。

まず、舟橋駅地下道にエスカレーターやエレベーターを設置してはどうかについてでございます。

駅におけるエレベーター等の設置判断基準といたしましては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく移動等円滑化の促進に関する基本方針によれば、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄軌道駅は、平成32年度までに原則、段差の解消、視覚障害者の転落を防止するための設備の整備等の移動等円滑化を実施するとしております。

平成25年度の舟橋駅乗降客数は1日平均466人でありまして、緊急に整備する必要はないものと考えております。しかし、議員ご指摘のとおり、将来を見据えた整備計画は重要であり、今後検討する必要はあると考えております。舟橋会館につきましても同様であります。

次に、舟橋駅地下道横にある噴水設備につきましては、現在使用を中止している状態であり、今後の対応につきましても検討をしてみたいと考えております。

また、駅にありますカモシカパネルのことでありますが、ご存じのとおり、平成20年に天然記念物のカモシカが本村図書館に迷い込んだことが全国ニュースに取り上げ

られたことから、本村並びに図書館のPRを目的に平成21年度絵本『カモシカとしょかん』の発刊を記念に、駅前時計塔の下に設置いたしましたものであります。

設置後5年が経過したことから、昨年度新たに「日本一小さな村」の看板を時計塔の下に設置したことにより、カモシカパネルの処分も検討いたしました。本村図書館は現在でもカモシカ図書館として人気が高いため、今後もPR用に使えと判断し、現在の場所に移動したものであります。

次にウォーキングロードについてですが、ウォーキングロードは、住民の健康促進を図る目的に平成22年度に完成いたしました。その後、ウォーキングマップの配布や村民の歩こう会を開催してまいりましたが、現在ではヘルスボランティアが歩こう会を継続して実施しております。

それぞれの経緯もあり、ウォーキング人口は増えてきたと感じておりますが、実際の利用者数について把握しているわけではございませんが、コース別に利用者数に開きがあると聞いております。

現在、ウォーキングロードには、しらいわがわ4.1キロ、ほそかわ3.5キロ、いなり2.5キロ、ぶっしょうじ2.0キロの4つのコースがございます。

一番ロードの長いしらいわがわコースは、ほかのコースの利用者に比べて少ないようですが、コースの選定は、各自の体力に応じて無理なく継続することが最も大切なことであると思っております。

本村は日本一健康な村を目指しており、今後も各種団体と連携しながらウォーキングを推進してまいりたいと考えております。

次に、京坪川河川公園や地区公園についてでございます。

本来、公園は地域のコミュニティ醸成の場であり、多くの住民の方が交流する場所であればいけません。しかし、現状はその機能が十分に発揮されているとは言いがたい状態でございます。

京坪川河川公園のことですが、現在、産学官金連携によるプロジェクトの中で、今年度用地取得いたしました公園用地の整備計画とあわせて検討しております。

単なる公園整備に終わることなく、公園の活用方法も含めて民間企業より提案をいただいております。来年3月には計画案を策定する予定でございます。

一方、地区公園は当該地区の住民交流が目的に設置されているものであり、行政主導ではなく、地域でどのように活用していくのかを検討していただくことも大変重要なこ

とであると思っており、各自治会にはぜひ役場側にそれぞれのご提案をいただきたいと考えております。

いずれにいたしましても、議員ご指摘のとおり、現段階から将来を見据えて検討することは重要なことでもあります。今後十分に時間をいただきながら、前に述べましたとおり、住民の皆様とともに検討を進めてまいりたいと考えておりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げまして答弁といたします。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 1 番森議員さんの憩いの場の整備についてのご質問にお答えいたします。

日本は今、超高齢化社会を迎えまして、健康長寿社会の実現に向けた取り組みが、国をはじめとする各自治体の主要課題であると思っております。

幸いなことに、本村は人口増施策が功を奏しまして、子育て世代の人口流入によりまして、現在、村民の平均年齢は38歳代と非常に若く、元気な活気のある村と言えるわけではありますが、今後は着実に退職世代、いわゆるイージレス世代の人口が増えていくということが予測されるのであります。

長寿社会では、高齢者である皆さんの地域での居場所や役割は大変重要なポジションでありますので、村といたしましても、現段階からその施策を進めていく必要があると思っております。この主要施策といたしましては、平成25年度にふなはしむら健康構想を策定し、今年度から、高齢者世代が地域の中に楽しみや居場所を見つけるためのエイジレスカフェ事業に取り組むこととしております。

森議員から指摘がありましたコミュニティーの場は、高齢者世代の受け皿として求められている重要なことであると認識しております。

しかし、単に施設を整備することだけでエイジレス世代の交流促進につながるとは私は考えておりませんので、舟橋会館や京坪川河川公園、そして地区公園などの既存の施設も立派なコミュニティー醸成の場であるとも考えております。

このことから、既存施設の有効活用を図った上で不足する機能整備をしていくことが最も大切なことであり、住民のニーズを十分把握いたしまして、そういった意見やあるいはまた提案を具現化するということが重要と思っておりますので、今後、十分検討してまいりたいと思っております。

さて、先般、本村のゲートボール協会から、ゲートボール場の横に設置されておしま

すプレハブの建物を会員以外の方との交流の場として活用したいというような提案がありました。

さらには、高齢者世代の交流に加えまして、隣接する学童保育室の子どもたちやその保護者との交流も図りたいというふうに言っていただいたわけであります。

私は、この子どもの保護者との交流に当たっては何らかの仕掛けが必要だと思いますけれども、大変積極的な意見をいただいた、提案いただいたということで、今後、十分支援対策を考えてまいりたいと思っております。

現在のところ、本村にとりましては高齢化対策は喫緊の課題ではありませんけれども、10年あるいは20年、30年先を見たときには、それぞれの施策を講じていくということは大変大切なことでもあります。そういった施策の立案と申しますか計画の推進に当たっては、多くの住民の方に参画していただくということも大切だと思っております。

いずれにいたしましても、住んでよかったと思える村を目指しまして、今後とも住民の皆さんとともに舟橋村の将来像を創造してまいる所存であります。どうか議員各位の皆さんにはご理解とご協力をお願いいたしまして、答弁とさせていただきます。

議長（前原英石君） 1番 森 弘秋君。

1番（森 弘秋君） 今ほど答弁ありがとうございます。

エレベーターですか、何か1日3,000人と聞いたんですが、それはそれとして、遠い将来と申しますか、希望的観測を持って今後整備を進めていきたいということでありましたので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

それから、水施設の話で、今度時計塔がよくなりますよね。それが舟橋駅前の顔だと言いましたように、水施設もそうですが、カモシカ君も、私はだめだと言っているんじゃないかと、カモシカ君を飾るのなら、もう少し見ばえと申しますか、きちんと、あの場所ではなく、あの場所というのはちょうどホーム側の窓側なんですよ。あそこから外が見えるんですよ。外を遮断しているんですよ、あのカモシカ君は。私はカモシカ君がだめだと言っているんじゃないかと、それなりに額装、額装というのは飾りつけるということですよ。額に入れるなりして、きちんとしたもので、あの場所ではなくて、もう少し何かいい方法があるのではないかと。

とすれば、カモシカ図書館なり舟橋駅のあるいは舟橋村の顔として、これからもしたくさんの方がおりてくるとするならば、舟橋村を売ると申しますか宣伝すると言いますか、そういったものに役立つというふうに思いますので、努めて、なるべく早くそこら

へんの整備をお願いしたいというふうに思います。

それと、村長からたまたま学童保育という話があったので、私はああ、よかったなと思っているんですが、私も4、5回ですかね、月1回ですが、学童保育といいますか学童と一緒に遊んでおりますが、学童のお守りというのは大変なんですよね。

それと、あそこの保育室へ行って、大きな部屋が1個、小さな部屋が1個かな、去年でしたかね、事務室が外へ出ましてその分広くなったんですが、それでもやっぱり狭い。35人か36人ほどおるんですが、出入りしますから常時30人ぐらいですかね。そういった子たちが遊ぶというのも非常に大変なんです。5、6人の指導員の方と一緒にやっておるんですが。

ということから、あそこでやっている感じでは、部屋が1個というふうになっていまして、2つか3つあれば、もう少し子どもたちがそれなりの好きな遊び場所といいですか、今子どもが私にせがんでおるのは、チェスやってくれんかって。私はチェスを知らんもんだから、今勉強している最中なんですけど、読んでみると難しい。そういったことで、いろんな遊び場所、1室ではなかなかできないものですから、これからの問題でありまして、村長、またよろしくをお願いしたいと思います。

以上。

議長（前原英石君） 以上をもって一般質問を終結します。

議案第42号から議案第45号まで

議長（前原英石君） 日程第2 議案第42号から議案第45号まで4件を一括議題とします。

（質 疑）

議長（前原英石君） 提案理由説明が終了しておりますので、これから一括質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） 質疑がないようですから、質疑を終わります。

（討 論）

議長（前原英石君） これから一括討論を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） 討論がないようですから、討論を終わります。

（採 決）

議長（前原英石君） これから、議案第42号 舟橋村障害程度区分審査会の委員の定数等を定める条例一部改正の件を採決します。

議案第42号を原案のとおり可決・承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第42号は原案のとおり可決・承認されました。

これから、議案第43号 平成26年度舟橋村一般会計補正予算（第5号）、議案第44号 平成26年度舟橋村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）の2件を一括して採決します。

議案第43号及び議案第44号の2件を原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（前原英石君） 起立全員であります。

したがって、議案第43号及び議案第44号の2件は原案のとおり可決・承認されました。

これから、議案第45号 舟橋村教育委員会委員任命の件を採決します。

議案第45号を原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（前原英石君） 起立全員であります。

したがって、議案第45号は原案のとおり可決・承認されました。

選 挙 第 2 号

議長（前原英石君） 日程第3 選挙第2号 富山県後期高齢者医療広域連合議会議員1人の選挙を行います。

お諮りします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって、指名推選にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法につきましては、議長が指名することにいたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、議長において指名することに決定しました。

富山県後期高齢者医療広域連合議会議員に舟橋村副村長・古越邦男君を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名いたしました舟橋村副村長・古越邦男君を富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の当選人にすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました舟橋村副村長・古越邦男君が富山県後期高齢者医療広域連合議会議員に当選されました。

選 挙 第 3 号

議長（前原英石君） 日程第4 選挙第3号 常願寺川右岸水防市町村組合議会議員選挙を行います。

お諮りします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法につきましては、議長が指名することにいたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、議長において指名することに決定しました。

常願寺川右岸水防市町村組合議会議員に

舟橋村東芦原 1 7 7 番地 長 瀬 榮 市 君 6 5 歳

舟橋村竹内 5 0 2 番地 杉 田 正 君 6 6 歳

の 2 名を指名します。

お諮りします。

ただいま指名いたしました長瀬榮市君、杉田正君を常願寺川右岸水防市町村組合議会議員の当選人にすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（前原英石君） ご異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました長瀬榮市君、杉田正君が常願寺川右岸水防市町村組合議会議員に当選されました。

議長（前原英石君） 以上をもって、本定例会の全日程が終了いたしました。

村 長 挨 拶

議長（前原英石君） 本定例会を閉会するに当たり、村長から挨拶があります。

村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本定例会に提出いたしました全議案にご同意いただきまして、まことにありがとうございます。

一般質問でもお答えいたしました。本村におきましても、少子高齢化・人口減少問題は避けて通れない課題であると認識しております。これらの諸課題に対応することで、今年 3 月に策定いたしました舟橋村環境総合整備計画に基づきまして、新年度予算には当該施策にかかります事業費を盛り込むこととしておりますので、ご理解をいただきました。

いと思います。

さて、第47回総選挙の投票日も2日前となりました。議員の皆さんも支持候補者あるいはまた政党への応援活動をされると思いますけれども、時節柄、健康に十分留意をいただきまして、輝かしい新春を迎えられますようご祈念申し上げまして、お礼の言葉にかえさせていただきたいと思います。

どうもありがとうございました。

閉 会 の 宣 告

議長（前原英石君） これで本日の会議を閉じます。

これをもちまして、平成26年12月舟橋村議会定例会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

午前10時06分 閉会

地方自治法第123条の規定により署名する。

平成26年12月12日

議 長 前 原 英 石

署 名 議 員 塩 原 勝

署 名 議 員 野 村 信 夫